

引退の記者会見で笑顔を見せる浅田真央選手（12日正午、東京都内のホテル）



涙ぬぐい新たな一歩

国民的ヒロインが勝負の銀盤に別れを告げた。東京都内で12日、現役引退の記者会見に臨んだフィギュアスケートの浅田真央選手（26）。五輪の年齢制限や最愛の母の死など数々の悲運にも負けず、完全燃焼した競技人生だった。多くのファンを魅了してきた「真央ちゃんスマイル」を浮かべながら「やり残したことはない」と満足感をにじませたが、会見の最後には涙も見せた。

会場となった都内のホテルには約430人の報道陣が集結。浅田選手は午前11時半ごろ、白いジャケツト姿で入場した。

冒頭、「選手生活を終える決断をした」と切り出した。「長い選手生活でたくさん山の山があった」としながらも「乗り越えることができたのは、支えてくれた人やファンのおかげ」と感

謝の言葉を口にした。

引退を考えるようになったのは、昨年12月の全日本選手権で12位に終わった後だったという。平昌五輪を

目指すと公言していたため、最終決断までには葛藤もあったというが、「気持ちも体も気力も出し切った。今は悔いがない」と晴れやかな笑顔で語った。これまでの競技生活を

「自分が望んでやってきたことだから、つらいと思っ

たことはなかった」と振り返り、ソチ五輪後に1年間の休養を経て復帰したことについても「チャレンジした結果、やり残したことはない」と言い切った。

約1時間の会見は終始笑顔だったが、最後のあいさつでは言葉を詰まらせ、目をぬぐった。

(2017年4月12日付夕刊社会面)

- ① 浅田選手が引退を考えてから最終的に決断するまで、かなりの期間を要しています。その理由を、記事中の言葉を使って説明してください。
- ② 記事上部の四角には記事のリード部分から言葉を抜き出した、メインの見出しが入ります。この記事のメイン見出しは何でしょうか。